

## ホームロジ、西日本通販拠点で物流ロボット稼働

Edited By LogisticsToday On 2017/12/01



GROUND（グラウンド、東京都江東区）は1日、ニトリ傘下の物流会社「ホームロジスティクス」が運営する西日本通販発送センター（大阪府茨木市）で、物流ロボット「Butler」（バトラー）が国内初稼働を迎えたと発表した。

ニトリホールディングスとの納入契約に基づき、西日本通販発送センターで、インドのロボットベンチャー企業GreyOrange（グレイオレンジ）社のバトラー79台が稼働を開始したもので、ホームロジスティクスでは、ロボットがセンター内を動き回ることによって商品の入出庫、保管業務の自動化・省人化の実現を目指す。

バトラーは、物流センターの床面を移動するロボットが可搬式の棚の下に潜り込み、作業員の元に棚ごと商品を届けることで、センター内の省人化を実現する物流ロボットシステム。ロボット本体に加え、専用の可搬式棚（MSU）、ピッキング、棚入れを行うためのワークステーション（PPS）、ロボットが自律的に充電を行うオートチャージャー（ACDS）、システム全体を制御するソフトウェア（WCS）の5点で構成され、導入後の物流センターでは商品の棚入れ・ピッキング作業工程で大幅な省力化を実現する。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/305365>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.